【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【公表番号】特表2018-531975(P2018-531975A)
【公表日】平成30年11月1日(2018.11.1)
【年通号数】公開・登録公報2018-042
【出願番号】特願2018-522022(P2018-522022)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/4245　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/4245
Ａ６１Ｐ　25/08　ＺＮＡ

【手続補正書】
【提出日】令和1年10月24日(2019.10.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５７】
説明のために、本発明の特定の実施形態を本明細書に記載したが、本明細書に記載した発明は、本明細書で開示した特定の実施形態によってその範囲を限定されるものではないということがわかるであろう。これら実施形態は、この発明のいくつかの態様を説明するものとして意図している。均等な実施形態はいずれも、この発明の範囲内にあるものであることを意図している。実際に、当業者にとっては、本明細書で示したもの及び記載したものに加えて、本発明の様々な変形例が、前述の記載から明らかとなることとなり、そうした変形例もまた、この発明の範囲内にあるものであることを意図している。
本件出願は、以下の構成の発明を提供する。
（構成１）
ナンセンス変異が介在するてんかん疾患を有する患者に対して、有効量の３－［５－（２－フルオロ－フェニル）－［１，２，４］オキサジアゾール－３－イル］安息香酸（３－［５－（２－ｆｌｕｏｒｏ－ｐｈｅｎｙｌ）－［１，２，４］ｏｘａｄｉａｚｏｌ－３－ｙｌ］ｂｅｎｚｏｉｃ　ａｃｉｄ）又は薬剤的に許容されるその塩を投与することを含む、前記ナンセンス変異に関連するナンセンス変異が介在するてんかん疾患を治療、予防、改善又は管理する方法。
（構成２）
前記ナンセンス変異が介在するてんかん疾患は、ＣＤＫＬ５又はＳＣＮ１Ａ（ドラベ症候群）のナンセンス変異に関連する、構成１に記載の方法。
（構成３）
前記塩は、マグネシウム塩、カリウム塩、ナトリウム塩、トロメタミン塩、Ｌ－リジン塩、Ｌ－アルギニン塩、Ｎ－メチルグルカミン塩及びＬ－ヒスチジン塩よりなる群から選択される、構成１又は２のいずれかに記載の方法。